

第3回京丹波町地域福祉計画策定委員会 会議概要

〔日 時〕 平成28年2月26日（金）午後1時30分～午後3時00分
〔場 所〕 京丹波町瑞穂保健福祉センター2階 集団指導室・健康学習室
〔出席者〕 委員18名（波瀬孝澄、田中強、片山俊明、大西好美、竹内裕子、岡本勇、一谷
静夫、谷山和子、津田勝二、友金一文、梅原好範、野間之暢、中西和之、高橋弘、
今海博文、木上實、山崎正則、藤田正則）欠席 河村泰宏【敬称略】
事務局5名（下伊豆かおり、津田知美、上原美智子、岡本明美、山内善史）

1 開 会（事務局）

2 委員長 開会あいさつ

3 協議事項

（1）アンケート調査結果（中間）報告について

- ・アンケートの集計結果の概要に基づき、コンサルより説明

委 員：無作為抽出の場合は、回収数も地区別の人口割合にあったものになるとの説明があったが、実際の地区別人口の割合と違うのではないか。

コンサル：各地区から1,000人ずつを無作為に抽出しているが、和知地区の回収票が多いのは、和知の方から、たくさん戻していただいたためであると考えます。また、年齢別には若い方があまりお戻しいただけなかったため、こういう結果となっている。

委 員：このアンケートの自由意見を読ませてもらったが、感じたのは、アンケートを生かしてくださいという意見と、これまでに実施したアンケートで返した例はあるかということ。そのあたりは、考慮していかなければならない。また、年齢別のクロス集計をしないと、詳細な分析はできないのではないかと。いろいろ、年代による違いがみられるはずである。また、自由記述部分は字が小さいので、今度はもう少し大きい字で冊子にしてもらいたい。福祉関係のマップがないという意見があったが、ここは施策会議なので、すぐに対応するなど施策を見直すことも必要である。サロンについては私も同感であるが、参加するのがしんどいという意見がみられた。また、総合戦略に掲載されているが、IターンとUターンをしなければいけない。その辺のあたりが、議題にあればおもしろい。いろいろな意見があるが、すぐに対応できるものもある。

事務局：今のご意見にあったように、こういうアンケートで発信されている声を大事にしていきたい。行政ですぐ対応できる部分もあるし、声を拾った中で、なにかできることはないか考えていきたい。

委員：自由記述も、カテゴリー分類が必要である。行政としてできているものもあるのに、広報ができていないため知らない人もいる。実施していることを、一人でも多くの人に利用していただき、不安を払拭するためにも、再度、細分化した内容で分析をして、議論を深めていくべきだと思う。

事務局：自由記述の生の意見についても、カテゴリー分類して最終の報告書には取りまとめたものを掲載していく予定である。

委員：年齢別にクロス集計を行い分析すると、例えば、福祉への関心など年代によって意見の違いも見られるので、そのあたりも追加して、年齢別のまちづくりの課題も抽出してほしい。アンケートをただけで終わってしまうことも多いので、それぞれの年代の課題を抽出することによって、今後の方向性がみえてくるので、やっていただきたい。

コンサル：本日の資料は中間報告であるので、最終の報告書には、全ての設問に、性別、年齢別の分析を追加する予定である。

委員：それぞれその人や年代によって課題は違うと思うが、今後福祉計画を策定するに当たって、それぞれの対象、年代による意見を尊重していく、また参考にすることが必要だと思うので、このアンケートが計画策定に生きていくのではないかと思う。また、生かしてほしいと思う。

委員長：皆さんから頂いた意見を踏まえ、このアンケートが今後の計画をつくるためのたたき台になるよう、生かしていただきたい。

- (2) 次年度の計画策定スケジュール（案）について
 - ・事務局より、次年度スケジュールについて説明

(3) その他

事務局：次回委員会は、平成28年6月24日（金）午後1時30分から開催

4 閉 会 副委員長 閉会あいさつ

— 閉 会 —